



2026年8月23日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

11,661万kW
17時30分、116,610 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,563万kW
12時、45,629 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

64万kW
23時30分、643 MW

◇ 再エネ最大需要比

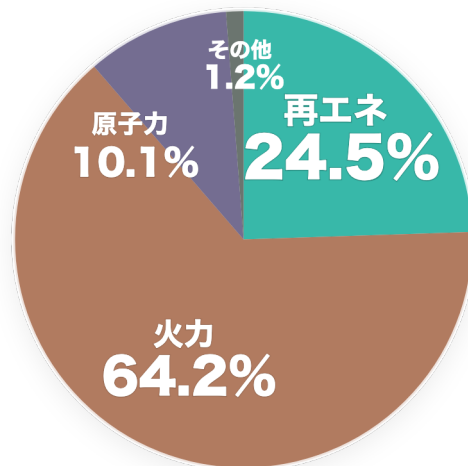
49.2%
11時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

東京
122 GWh

↔ 最大送電エリア

東北
117 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 42.0%

34.3 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

74.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:30に3,646万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで42.0%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	24.5%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	598 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,440 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	49.2%	11時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	74.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	42.0%	34.3	0.0	送電 5.9
東北	26.9%	84.0	0.0	送電 117
東京	17.1%	109	0.0	受電 122
中部	32.5%	94.9	0.0	受電 63.6
北陸	33.3%	24.6	0.0	送電 2.5
関西	17.5%	68.9	0.0	受電 51.7
中国	26.8%	54.6	0.0	送電 26.3
四国	26.2%	28.7	0.0	送電 34.8
九州	30.9%	95.4	0.0	送電 33.1
沖縄	12.4%	3.6	0.0	—



2026年8月23日の供給実績

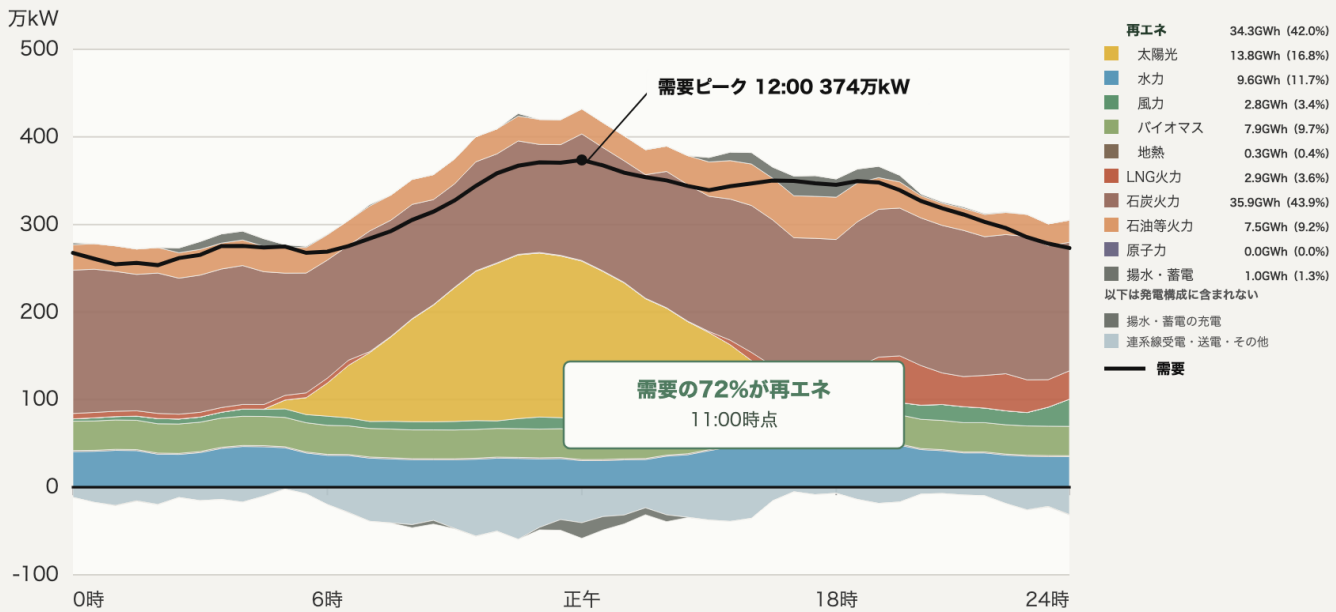
北海道エリア

再エネ

34.3GWh

(発電電力量ベース42.0%)

北海道エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

81.7GWh

需要ピーク

12:00、374万kW

連系線・その他

6.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク187万kW、風力ピーク31万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.3%だった。



2026年8月23日の供給実績

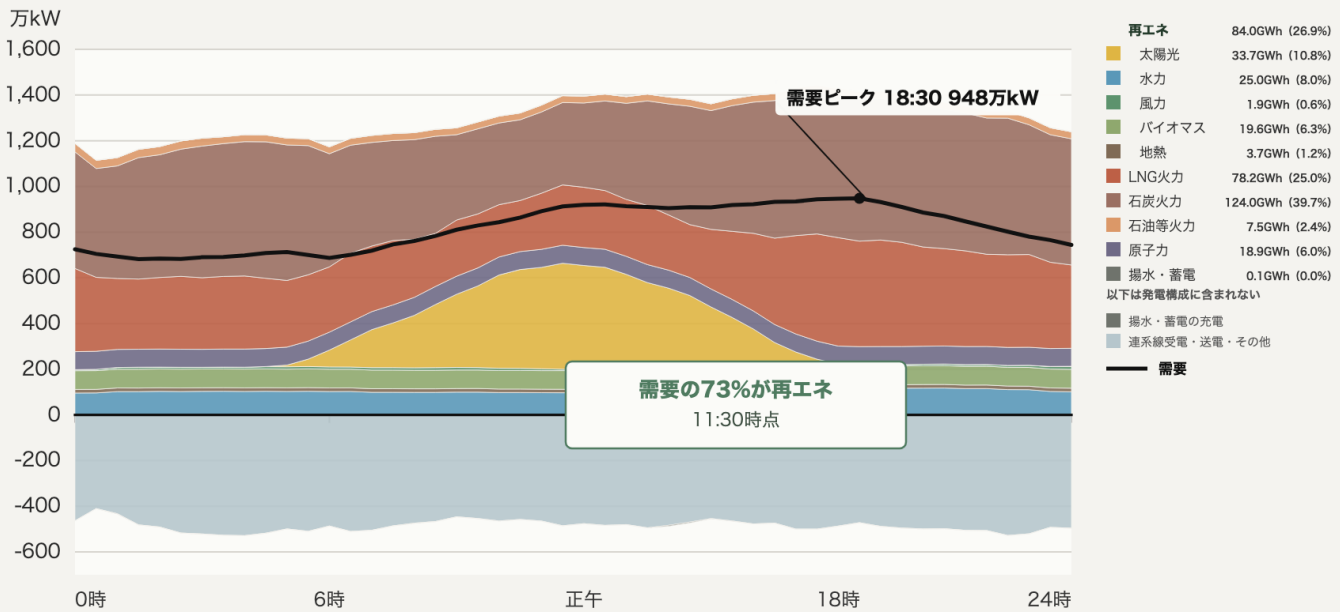
東北エリア

再エネ

84.0GWh

(発電電力量ベース26.9%)

東北エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

312.7GWh

需要ピーク

18:30、948万kW

連系線・その他

116.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク464万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.7%だった。



2026年8月23日の供給実績

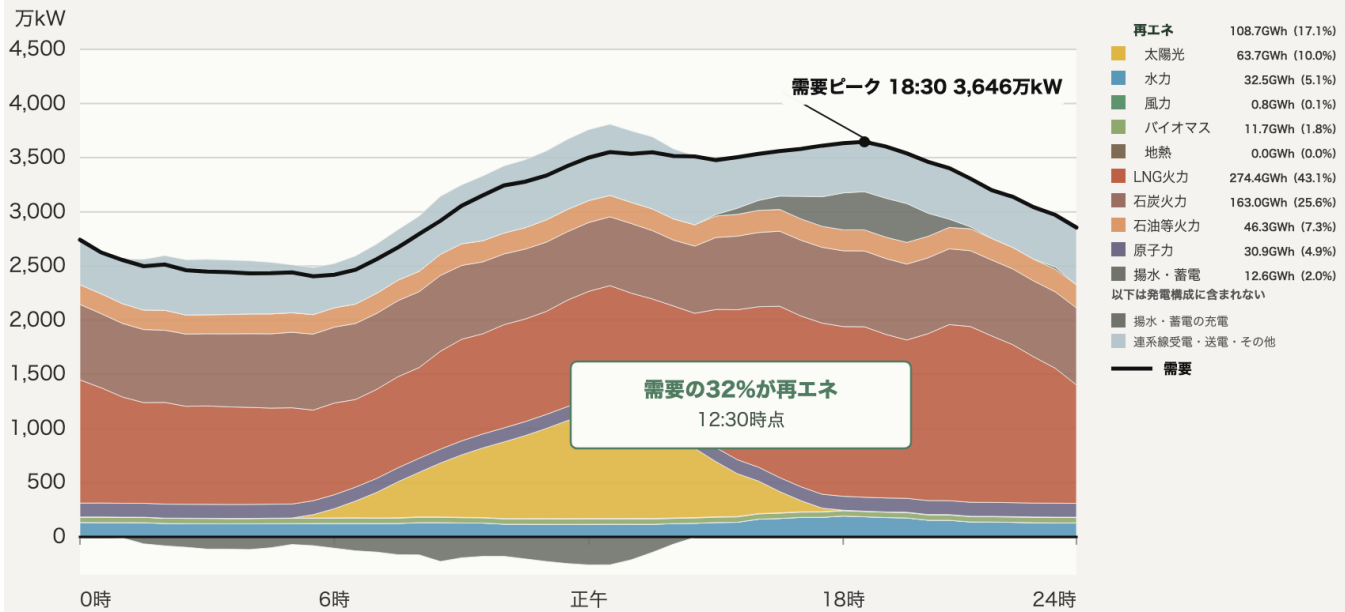
東京エリア

再エネ

108.7GWh

(発電電力量ベース17.1%)

東京エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

635.9GWh

需要ピーク

18:30、3,646万kW

連系線・その他

121.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

19.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク955万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.1%だった。



2026年8月23日の供給実績

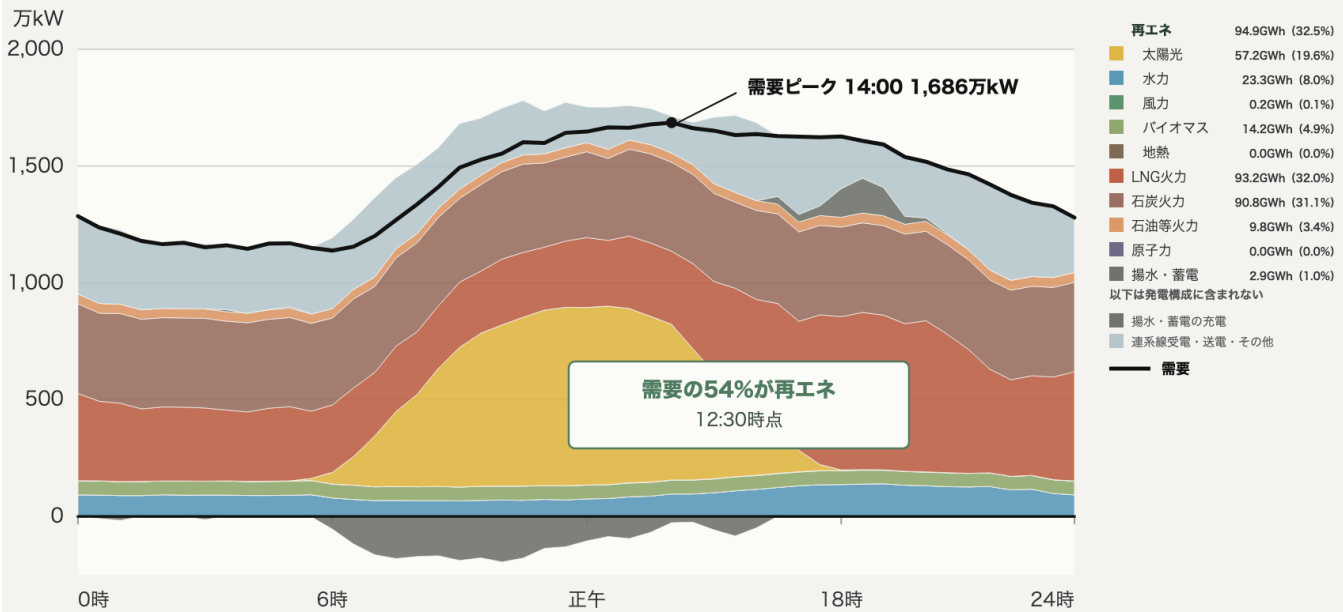
中部エリア

再エネ

94.9GWh

(発電電力量ベース32.5%)

中部エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

291.5GWh

需要ピーク

14:00、1,686万kW

連系線・その他

63.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

12.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク764万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.2%だった。



2026年8月23日の供給実績

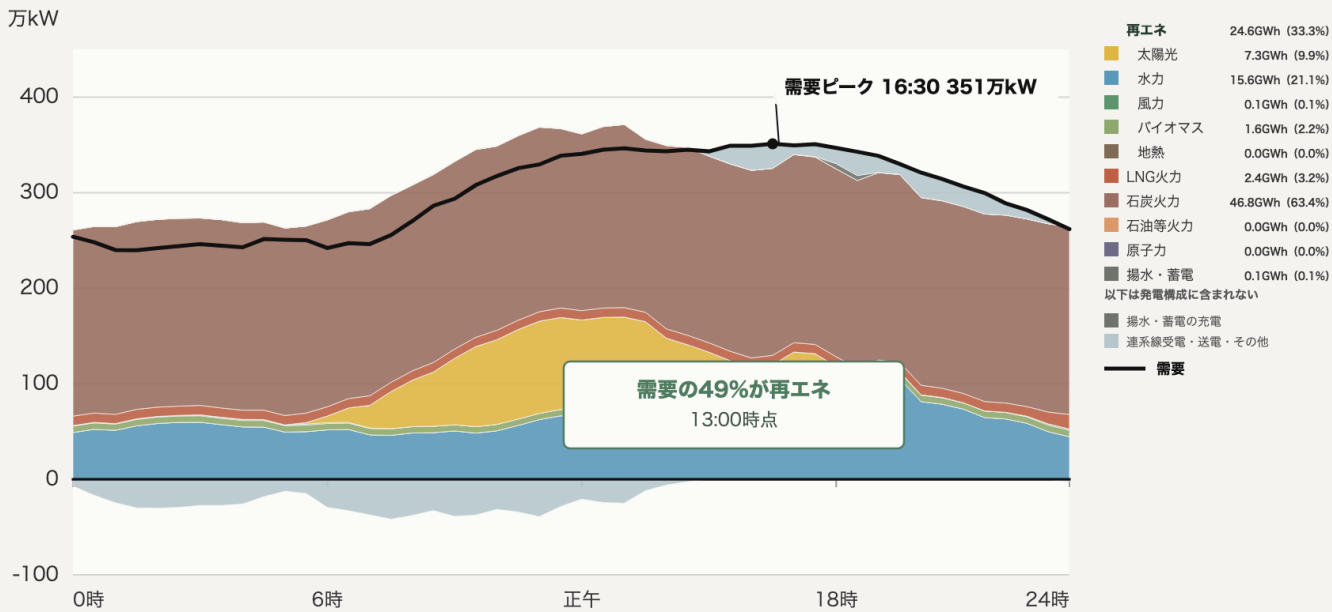
北陸エリア

再エネ

24.6GWh

(発電電力量ベース33.3%)

北陸エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

73.8GWh

需要ピーク

16:30、351万kW

連系線・その他

3.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.2%だった。



2026年8月23日の供給実績

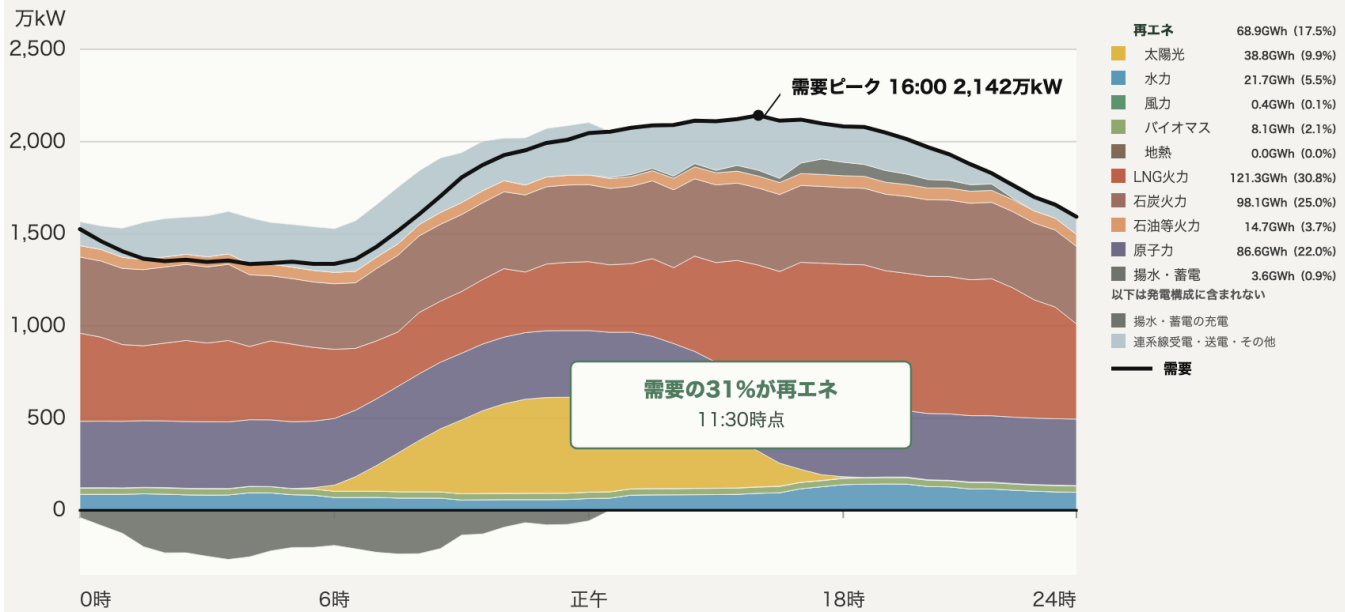
関西エリア

再エネ

68.9GWh

(発電電力量ベース17.5%)

関西エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

393.2GWh

需要ピーク

16:00、2,142万kW

連系線・その他

51.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

21.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク520万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.8%だった。



2026年8月23日の供給実績

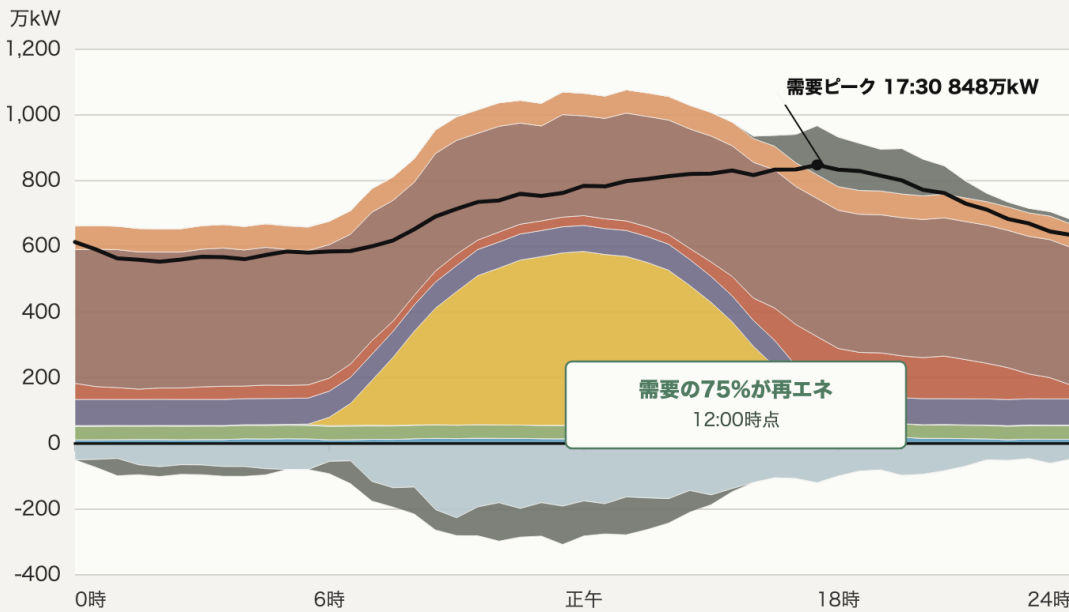
中国エリア

再エネ

54.6GWh

(発電電力量ベース26.8%)

中国エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 204GWh
(2,040万kWh)

再エネ	54.6GWh (26.8%)
太陽光	41.0GWh (20.1%)
水力	3.5GWh (1.7%)
風力	0.3GWh (0.2%)
バイオマス	9.8GWh (4.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	14.2GWh (7.0%)
石炭火力	93.2GWh (45.7%)
石油等火力	17.2GWh (8.4%)
原子力	19.0GWh (9.3%)
揚水・蓄電	5.9GWh (2.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

204.0GWh

需要ピーク

17:30、848万kW

連系線・その他

26.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク530万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.1%だった。



2026年8月23日の供給実績

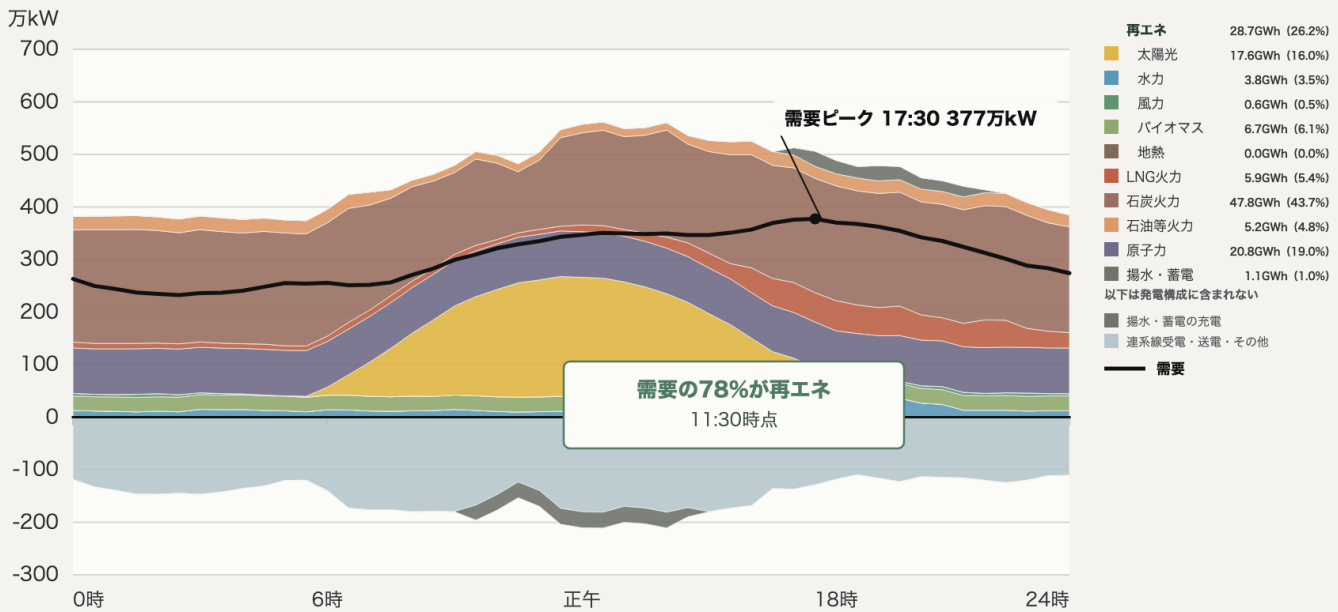
四国エリア

再エネ

28.7GWh

(発電電力量ベース26.2%)

四国エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

109.5GWh

需要ピーク

17:30、377万kW

連系線・その他

34.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク228万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.0%だった。



2026年8月23日の供給実績

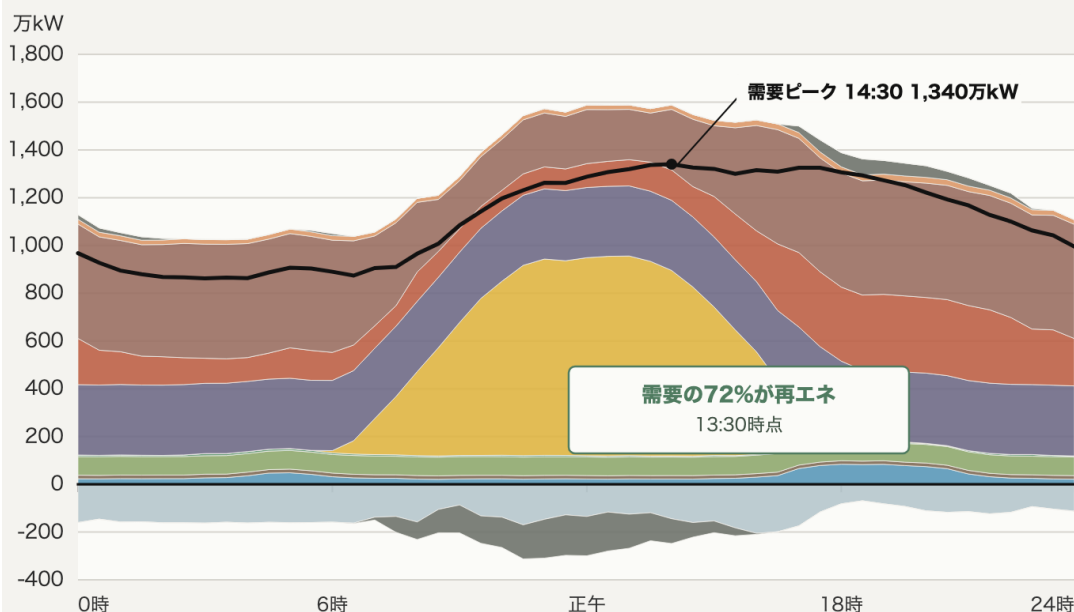
九州エリア

再エネ

95.4GWh

(発電電力量ベース30.9%)

九州エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 309GWh
(3,091万kWh)

再エネ	95.4GWh (30.9%)
太陽光	63.5GWh (20.5%)
水力	8.4GWh (2.7%)
風力	1.3GWh (0.4%)
バイオマス	18.7GWh (6.0%)
地熱	3.5GWh (1.1%)
LNG火力	41.5GWh (13.4%)
石炭火力	94.0GWh (30.4%)
石油等火力	4.8GWh (1.6%)
原子力	70.5GWh (22.8%)
揚水・蓄電	2.9GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

309.1GWh

需要ピーク

14:30、1,340万kW

連系線・その他

33.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク836万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は74.7%だった。



2026年8月23日の供給実績

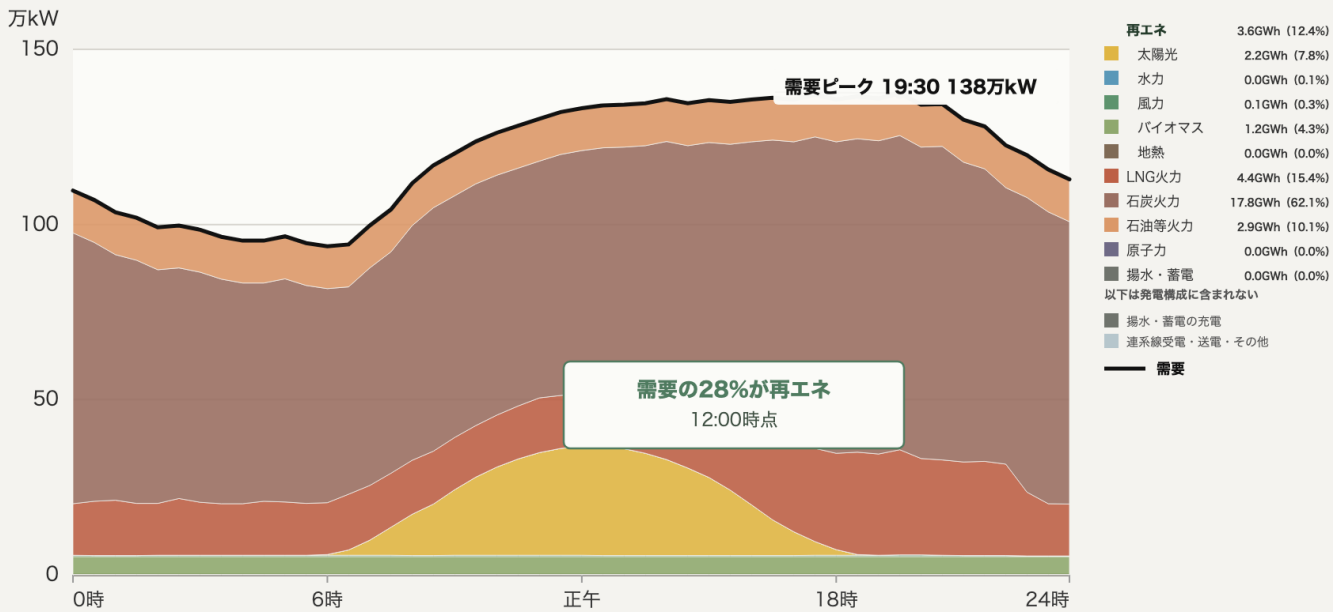
沖縄エリア

再エネ

3.6GWh

(発電電力量ベース12.4%)

沖縄エリア 2026年8月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

28.7GWh

需要ピーク

19:30、138万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク31万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.6%だった。